

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	差別は発生していない。また差別が発生しないよう、就業規則にて差別禁止に関する方針を定めている。					5.1 5.2 5.5										16.1 16.2 16.7		
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメントは発生していない。またハラスメント発生防止に向け就業規則の整備を進めている。					5.1 5.2 5.5										16.1		
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	勤怠管理システムで労働時間を管理し、長時間労働が発生していないことを確認している。また長時間勤務とならないよう社長が積極的に関与している。																	
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者は在籍しておらず差別は発生していない。また取引先の外国人労働者に対しても、差別や人権侵害が発生しないよう社内周知を図っている。				4.4												8.7 8.8 10.2 10.3	
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	就業規則において労働安全衛生について明記し、注意喚起を図っている。																8	
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	相談窓口を外部に設け、相談しやすい環境を整備している。またメンタルヘルスに対応した休職規定を整備している。																3	
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性の積極的採用や研修制度、また男性の育休制度取得などを通じて、働きやすい職場環境を整えている。					5.1 5.5											8.5 10.2 10.3	
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	業務に必要な資格に関して会社が100%費用を負担することで従業員の能力開発に努めている。																4 5.5 8 9	
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法、労働契約法の内容を理解しており、同一労働同一賃金の原則に沿った対応を行っている。																5.5 8.5 10.2 10.3	
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	毎年定期健康診断を受診し、従業員の健康状態の把握に取り組んでいる。																3 8	
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	事業活動において排出される廃棄物の種類と量を把握し、適切な処理を行っている。															11.6 12 14.1		
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	電気・水道・ガソリンの使用量を把握している。															7.3 13		
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	電気使用に伴うCO2排出量削減に向け、電気のLED化と空調をセンサー式のものへ入れ替えた。また電気の自動消灯を導入している。															7.2 7.3 12.4 13.3		
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	事業運営上有害化学物質の取り扱いはないが、法令で規制されている有害化学物質を把握し理解している。																3.9 6.3 11.6 12.4	

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	お客様のDX化支援を通じて、サプライチェーン全体で生物多様性保全に貢献していく。						6.6								15			
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	中古のPCやコピー機等のOA機器の取り扱いにより、資源の有効活用に努めている。									13	14.1							
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	自社の水利用状況を把握している。今後、事務所の使用量削減に取り組んでいく。					6.4	6.6											
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	DXマーク認証を取得している。			3.9		6	7			12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】今後HP等を通じて環境の取り組みについて正しく公開していく。									12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】太陽光やクリーン電力の使用を検討していく。						7.2				13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	再生紙の使用や認証製品の利用を通じて、資源の持続的活用を進めている。									12.2	13	14	15					
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	取引先とのガイドラインに則り、絶対に汚職が発生しないよう厳重に注意している。														16	16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	取引先企業との適切ではない契約が行われることが無いよう高い倫理観を持って厳重に注意している。														16			
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産の侵害に当たらないか、取引先と対話を行い、チェックしている。							8.2	9	8.3								
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	DXマーク認証取得はもちろんのこと、更新のタイミングで従業員へ個人情報管理について周知徹底している。														16			
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物の取り扱いはない。														16			
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	グループ会社全体での対話を通じて、各社の取り組み状況を把握し、協力しながらSDGsの達成ができるよう努めている。					5		8		10	12	13	14	15	16	17		
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。			3				8	9	10						17		

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法は[こちら](https://www.biz-partnership.jp/)。https://www.biz-partnership.jp/

